

をみることで改善してゆくと思われる。一方、再分布群と無変化群では、長期の内科治療で心筋シンチにほとんど改善が得られなかった。再分布群では、器質的な冠動脈狭窄が予想され、長期の内科治療によっても著しい改善は得られず、PTCA または A-C バイパスで治療効果が期待される。無変化群では器質化が完成しており、それ以上の改善は期待できない。心筋梗塞・急性期のタリウム心筋シンチは、治療法の選択を行う上で重要であり、逆再分布現象の経過はよい。

21. ^{201}Tl 心筋シンチグラフィ上 stunned myocardium と考えられた一症例

山本 寿郎 大柳 光正 成瀬 均
川本日出雄 小亀 孝夫 藤谷 和大
岩崎 忠昭 (兵庫医大・一内)
福地 稔 (同・核)

近年, stunned myocardium と呼ばれる短時間の心筋虚血後の再灌流によって心筋壊死が生ずることなく心機能低下が遷延し, ある期間の後に心機能の改善が認められる病態が注目されている。今回このような病態を呈したと考えられ, ^{201}Tl 心筋シンチグラフィにて経過を追えた症例を経験したので報告する。症例: 47歳, 男性。胸痛を主訴に入院。心電図, 心臓超音波検査および筋原性酵素上昇より急性心筋梗塞と診断, 胸痛出現後約3時間で心臓カテーテル検査を施行した。冠動脈造影は正常, 左心室造影は segment 2, 3, 4, 6 で akinesis, 駆出率は41%であった。第3病日, 急性期 ^{201}Tl 心筋シンチグラフィでは, 前壁自由壁, 中隔, 心尖部に perfusion の低下を認めた。冠動脈造影より, 冠血流量は保たれているが心筋の Tl の uptake が低下したためと考えられた。慢性期冠動脈造影は正常, 左心室造影は正常収縮, 駆出率は67%と心機能の改善を認めた。慢性期 ^{201}Tl 心筋シンチグラフィは, perfusion の低下を認めず心機能の改善を支持する結果を得た。本症例は, spasm の関与する急性心筋梗塞と考えられ, 発症早期に自然再開通したと考えられる。 ^{201}Tl 心筋シンチグラフィ上, 急性期に perfusion の低下を認めたものの慢性期には認めず, 急性期に細胞障害を示していたが壊死には至っていなかったことを示唆した。心臓カテーテル検査においても冠動脈造影は正常冠動脈で, 左心室造影は急性期には壁運動の低下を認めたものの慢性期には正常化した。

以上より, 本症例は stunned myocardium と考えられ, ^{201}Tl 心筋シンチグラフィ上, 若干の知見を得たので報告した。

22. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ ピロリン酸, ^{201}Tl dual imaging による急性心筋梗塞の診断

栗原 正 成田 充啓 村野 謙一
宇佐美暢久 (住友病院・内)
本田 稔 友延 正弘 金尾 啓右
(同・RI)

急性心筋梗塞 (AMI) 8例, 胸痛または心電図変化により再梗塞を疑われた陳旧性心筋梗塞 (OMI) 3例, 心不全を発症した OMI 1例, 発作性心房細動時に狭心症の出現した1例の計13例を対象に, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -ピロリン酸 (PYP), ^{201}Tl dual imaging を行い, その急性梗塞診断上の有用性を検討した。 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PYP 静注3時間後に ^{201}Tl を静注, その15分後より, 360° , 64方向より dual isotope SPECT を撮影した。PYP, Tl は同時に, 同一断面で断面イメージを作成, 両者を対比し, 急性梗塞の有無, 部位診断を行い, また PYP-SPECT より voxel count 法により梗塞 size の定量評価を行った。

初回 AMI 8例全例で心筋への PYP 集積を認め, PYP 集積部に一致して Tl defect を認めた。また, SPECT 像により, 梗塞の広がりや明瞭に把握しえた。PYP より求めた梗塞重量は, peak CK-MB 値との間に $r=0.855$ の高度の相関を示し, PYP により梗塞 size の定量評価が可能と考えられた。OMI 4例中, AMI の再発を疑われた3例では PYP 集積を認めなかった。一方, 心不全発症例では心電図上梗塞所見をみなかったものの, PYP により小梗塞が, また, 発作性心房細動時に狭心症を認めた1例においても SPECT によってのみ小梗塞巣が検出され, Tl SPECT との対比により, これら小梗塞巣の部位診断が可能であった。 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PYP, ^{201}Tl dual SPECT は, 急性梗塞の広がりや正確な把握に加え, 小梗塞巣の検出およびその部位診断も可能であり, 急性心筋梗塞の診断上有用と考えられた。